



# 岡 津



学校だより 2月号  
令和5年1月31日  
横浜市立岡津小学校  
校長 下畝 直人  
TEL 811-4104  
FAX 812-4586

「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



## 百里を行く者は、九十を半ばとす

副校長 松谷 隆広

早いもので1月最終日を迎えました。1月に新年を迎えてから年度末を迎える3月までのこの3か月は「あっという間」に過ぎ去っていきます。過ぎ去るスピードは加速しているように感じます。

1月31日、本日時点で、残りの登校日数は6年生が33日、1年生～5年生が37日です。4月に令和4年度の授業がスタートしてから約8割が過ぎたこととなります。この時期になると私はいつも表題の言葉を頭に浮かべます。

『百里を行く者は、九十を半ばとす』

これは、古代中国の劉向の書である『戦国策』にある言葉です。「何事も終わり間際ほど不測の事態が多いため、九分までたどり着いたところで、ようやく半分と考えて、最後まで気を抜いてはならない。」という意味です。また、ここから転じて、私は「物事は始めの方は易しいけれど、終わりの方は難しい。」という意味にも解釈して自分への戒めとしています。

人は大きな目標を目指すとき、九分九厘まで進んだなら「すでに成った」と気を緩めることがあります。先日、カタールで行われたワールドカップでも、先取点を取ったチームが一瞬の隙をつかれて逆転されてしまい、そこから形成が一気に逆転してしまっただけで敗退するシーンが幾度となく見られました。優勝候補、強豪と言われるチームでも、一瞬たりとも気を抜かずに最後まで集中してプレーし続けることの難しさを感じました。

令和4年度もいよいよゴールが目前です。3月が終わり4月になれば、6年生は中学生に、1年生、2年生、3年生、4年生、5年生は、1学年ずつ進級し、新しい1年生をこの小学校に迎えます。ここで大切なことは4月になれば進級するというのではなく、大きく飛躍するためには、今のうちにエネルギーを蓄えて準備を万全にしておくことです。『百里を行く者は、九十を半ばとす』の言葉の通り、まとめのこの時期を大切に過ごして、「有終の美」を飾って欲しいと願っております。

新型コロナウイルスとともにインフルエンザも感染が拡大しています。児童には引き続いて健康や安全に気をつけて過ごして欲しいと願っております。今後とも、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。